

# 新任社外役員紹介

本年6月24日の2021年度定時株主総会にて選出された、2人の社外役員をご紹介します。

社外取締役

鷺谷 万里 *Mari Sagiya*

## 略歴

1985年4月 日本アイ・ビー・エム(株)入社  
2005年7月 同社執行役員(2014年7月退任)  
2014年7月 SAP ジャパン(株)常務執行役員(2015年12月退任)  
2016年1月 (株)セールスフォース・ドットコム (現(株)セールス  
フォース・ジャパン)  
常務執行役員(2019年8月退任)  
2022年6月 三菱商事(株)取締役(現職)



私は長年IT企業でお客様へのソリューションの提案、提供に従事してまいりました。テクノロジーの可能性を想像し、お客様にとって必要不可欠な価値をプロデュースできるIT企業が成功していることはご存じの通りです。三菱商事は事業経営の主体として多様なビジネスモデルを展開しており、時代に合わせてその業態を変化させながら、新たな価値を創出し続けています。DXによる事業価値向上の推進もその一つであり、中期経営戦略2024における重要テーマとなっています。この取り組みに関しては、とりわけ自分の経験に基づく支援ができればと願っております。

ガバナンス体制について三菱商事は丁寧に

対応していると感じます。総合社社の特殊性や複雑性を踏まえ、社外役員が適切な判断ができるよう情報提供の場が多く設けられ、建設的な議論が進むよう工夫されています。

社員の方々にお会いして共通点として感じるのは、先輩社員が築き上げてきたビジネス基盤に関する誇りと感謝の念を抱きつつ、自分たちが三菱商事の持続的成長を支えるために果敢かつ前向きに挑戦し続けるミッションを背負っているという意識の高さです。

株主の皆様には、三菱商事のさらなる総合力の強化と事業価値向上の成果を見守りつつ、今後ともご支援くださいますようお願いいたします。

社外監査役

小木曾 麻里 *Mari Kogiso*

## 略歴

1990年4月 (株)日本長期信用銀行入社  
1998年6月 世界銀行入行(2010年退任)  
2019年6月 (株)ファーストリテイリング 社長室部長(ダイバーシテイ、人権、サステナビリティ広報)(2020年12月退任)  
2021年1月 (株)SDGインパクトジャパン設立 代表取締役社長(現職)  
2022年6月 三菱商事(株)監査役(現職)



私はこれまで国際機関や社会課題のコンサルティングの仕事に従事してまいりましたが、今ほど社会環境価値と企業の収益が密接にリンクした時代はなかったと感じています。気候変動への対応はもちろんのこと、多様性や人権への配慮、人的資本経営など、ここ数年の変化のスピードは非常に早く、今やESGが企業価値に直接的な影響を及ぼす時代となりました。

三菱商事では社外監査役としてさまざまな議論や往査に参加させていただいておりますが、三菱商事の強みは業界への深い知見とネットワーク、そして優秀な社員の行動力に支えられた現場であると強く感じます。これら

は変化の早い今のような時代にはより重要ですが、一方で、過去の現場の成功体験は新しい事業にそのまま通用しないこともあり得ます。私は公的機関及びソーシャルセクターでの経験から、経営にとって新たな視点や気づきをもたらすような意見・質問を提起する存在になりたいと考えています。そして組織の考え方の多様性とリスク感度を高めることで、三菱商事のガバナンス、そして企業価値の向上に貢献したいと考えています。株主の皆様には、社会課題という軸を新たな戦略に組み込み変貌を遂げていく三菱商事を引き続きご支援いただければ幸いです。